

さかさ ふじ てん まん ぐう

逆藤天満宮

(菅原道真天神様を祀る)

鑊阿寺の北門(薬医門)を出て左に歩くと、逆藤天神という小さな社があります。昔、足利又太郎忠綱が天神さまに祈ろうとしたとき、手に持っていた鞭代わりの藤の枝が邪魔だったので、社の前の地面に逆さに刺し、急な追手に、そ



のままにして逃げてしまいました。この藤の枝が芽を吹き、年を経るに従って大木になったので、誰いうとなくこの社を“さかさ藤天神”と呼ぶようになり、いつしか「窮地脱出」「逆転勝利」などの霊験があるといわれるようになりました。

足利氏には、六孫王経基を祖とする源姓と、藤原秀郷を祖とする藤姓があります。義兼や後世の尊氏などは源姓ですが、忠綱は藤姓で、両崖山に足利城を築いた足利太夫成行から四代目になります。源氏がこの足利地方に来るまでは藤原系の足利氏がこの地方を治め、ちょうど今の鑊阿寺周辺に本拠があったといわれており、藤原氏が恐れる菅原道真を祀っている神社(天神様)がここにあるのも当然といえます。

■所在地／足利市家富町

■アクセス

JR足利駅から1.1km、徒歩15分

東武足利市駅から1.2km、徒歩16分



逆藤天満宮